

いま注目を集めている、ポケモンの絵本シリーズがあるよ。たくさんのポケモンたちが暮らす「もんぼけじま」を舞台に、ピカチュウたちがさまざまな体験を重ねていく、あたたかくて優しい物語なんだ。作者の絵本作家・まつおりかこさんに、物語に込めた思いやポケモンの描き方を聞いてきたぞ。

ポケモン絵本

作者に聞く



制作のようす

◀下描きはアイパッドを使うそう

まつおさんの使っている筆や水彩絵の具。ポケモンごとに色を作る



◀色を塗るのは手作筆！



自分なりの順番で描く／目に色いれて

——ポケモンを上手に描くコツを教えてください!!

私はポケモン図鑑やゲームの画像などを見て、たとえば後ろ姿はどうなっているかなどを考えるようにしていました。また、私の場合、ピカチュウなら耳を最初に描いて、次は輪郭……というふうに進めていくのですが、どんな順番で描いたらバランスが取りやすいのか、自分なりの方法を見つけると描きやすくなると思います。絵を描く道具を変えてみるのもいいですね。

ペンや鉛筆、クレヨンや絵の具など色々なものを試すと、これまで以上に自分に合うものが見つかるかもしれません。

——まつおさんが工夫しているポイントは?

細かい所ですが、ポケモンたちの目にうっすらと色をいれています。ピカチュウは元気なイメージだからオレンジ、イーブイはきつとかわいいものが好きだからピンクといったふうに、ポケモンによって色を変えているので、見てみてください。

「学校だけじゃない」思い込めて

物語は、ひとりぼっちで舟で旅をしているピカチュウが、ほかのポケモンたちが暮らす「もんぼけじま」にたどりつくところから始まるぞ。この島でピカチュウは、イーブイやデデンネたちと友だちになったり、家を作ったりして、少しずつ自分の居場所を見つけていくんだ。

最初の方にあるくみの

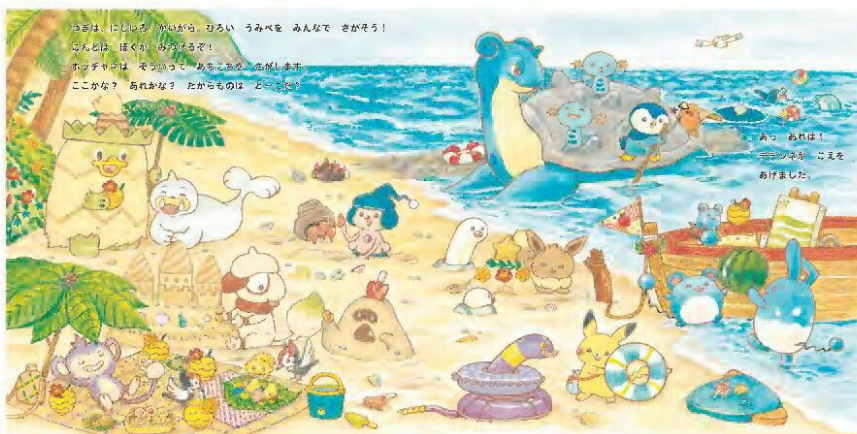
どこかにじぶんにぴたりすてきなばしょがきっとあるはず>という言葉は、作者のまつおさんから読者の子どもたちへのメッセージなんだって。「学校など、いま生きている場所がすべてだと感じるかもしれないけれど、世界は広いです。成長する中で、自分に合う場所でのびのび生きてほしいという気持ち

©2021 まつおりかこ



を込めました」と話してくれました。

居場所はどこだっていい



©2025 まつおりかこ

最新作は宝探し!

絵本は第3弾まで発売されているよ。今年発売された最新刊「ピカチュウとうみのたからさがし」は、ピカチュウたちが海辺で見つけた宝の地図を手に、みんなで宝探しをする話。泳ぎが得意なポッチャ



3作目

マも新登場し、夏にぴったりの話になっているよ。

うきわを持って楽しげなピカチュウや、お城作りに夢中のドールなど、ポケモンたちが仲良く海辺で遊んでいるシーンに注目!! きみのお気に入りのポケモンはどこかに過ぎしているか探してみてね☆

★ 絵本「ピカチュウとうみのたからさがし」を3人にプレゼント☆ くわしくは17ページを見てね。